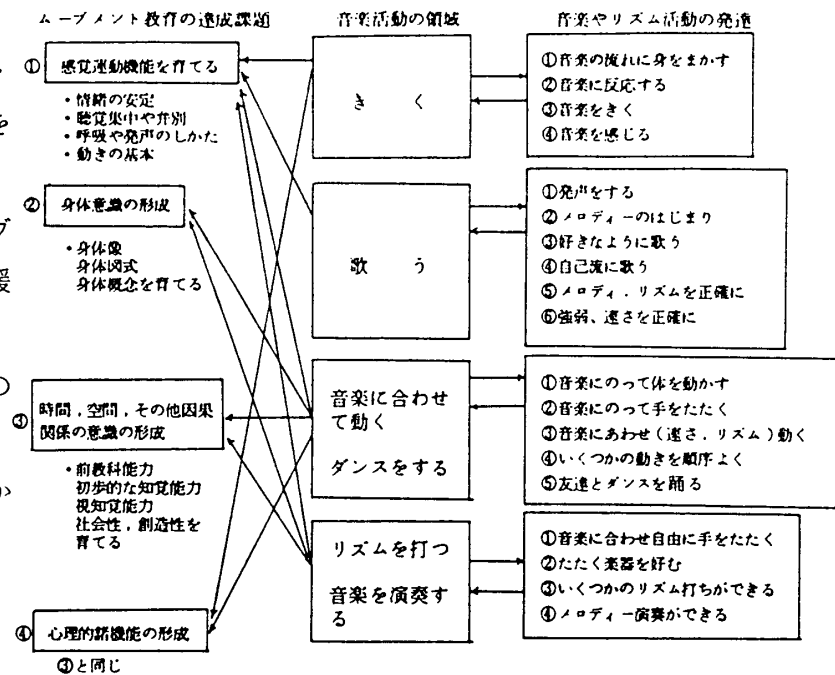


## 【5】 合同音楽

### (1) ねらい及指導の方針

- 音楽を通して、歌・動き・リズム・イメージの表現をする。
- 子どもの音楽活動でムーブメント教育の達成課題を援助する。(右図参照)
- 子どもの動き、音楽活動の発達に即して行う。
- 楽しく参加できるレベルから始める。



### (2) 実 態

#### ○ MEPAでチェック

	2~3才				4才				5~6才					
	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
AY														
KK														
HO														
TM														
KN														
KO														
HM														
MT														
YN														
KY														
YK														

音楽に合わせて動くこと、歌うことなどにより、音楽

と自分の活動を結びつける力を育てながら(2~3才)音楽のリズムと動きを基礎として、音楽のリズムと動きを結びつけたり、音楽と身近なもののイメージを結びつけて、体で表現することや集団活動を充実させ(4才)聴覚運動連合や創造的能力の促進、合奏を取り入れる(5~6才)レベルの指導が適した集団。

4才レベルのチェック項目 ①音楽に合わせて、歩いたり、走ったり、スキップする。②音楽の速度に合わせて歩く。③音楽をきいて、体で大きい小さいを表現。④友達と一緒にうたを歌う。簡単な輪唱。⑤手あそび。⑥音楽のイメージに合わせた動物ごっこ。

#### ○ リズム模倣でのチェック

4才	$\frac{2}{4}$ ♪ ♪				$\frac{2}{4}$ ♪ ♪				$\frac{4}{4}$ ♪ ♪ ♪ ♪				$\frac{3}{4}$ ♪ ♪ ♪					
	2	3	4	5	2	3	4	5	2	3	4	5	2	3	4	2	3	4
AY																		
KK																		
HO																		
TM																		
KN																		
KO																		
HM																		
MT																		
YN																		
KY																		
YK																		

拍への同期ができ始める。しかし、2拍子・3拍子というような拍子を感じて反応することは難しい(3才)から、音に合わせてリズムカルに体を動かすことができるようになる。8分音符を含むリズムパターンなどで、グルーピングしやすいものへの同期ができるようになる(4才)レベルといえる。

チェック項目 ①反応がない ②正しくないが同じにしようとする ③リズムパターンについていけない ④1人でするがくるってしまう ⑤1人で正しくうてる

日常観察を通してチェック

- 幼児向けアニメの主題歌を好む。• 音楽によって気持ちを盛り上げる。
- リズミカルな動きに欠ける。• ダンス遊びを喜ぶ。• 協応動作に問題が多くある。

### (3) 実践例

小林芳文他編の「ミュージック・ムーブメント」コレール社のモデルプログラムを参考にする。  
4才レベル（身体意識を育てる）を中心に、2～3才、5～6才に配慮しながら実践する。

日	身体表現	鑑賞	歌・指遊び	リズム・合奏	ダンス・遊び歌
	速さや強弱をからだで表現。 音楽と動きを結びつけて表現。	イメージを表現	動きを通してことばを表現 歌いながら動きを表現	リズムで表現 身体図式 速さとリズム	みんなで、表現する 身体意識 社会性
4月5月7月	ぶんぶんぶん → →あくしゅでこんにちわ（歩く） →きしゃ（合図ですべりこむ） →おうま（走る） →ちょうちょ	おどるこねこ 作・アンダーソン	おはながわらった  ぞうさんとくものす（指遊び）	たんぶりんのわ • 手拍子 • タンブリン	地球をまわせ 円になって歩く 向きをかえる
9月	行進曲 → おもちゃのマーチ → あゆめよこま → とんぼ → 大きな栗の木の下で	スケーターズワルツ • 学習発表会の合奏に発展	「お父さん指」 • 各指の対向性 • 「こんにちわ」でリズミカルにトントントと合わす	手拍子で色々なリズムをたたく。 • 2拍子、4拍子 • リズムパターンでグループ分け →リズム合奏	ジェンカ  手の平を太陽に
10月	9月に同じ • 「大きな栗の木の下で」 大きい → 小さい → 大きいの変化をつける。	9月に同じ • 体を揺らして拍子を少し感じる • スケートのイメージをもつ	「やきいもゲーチーパー」 • ゲー、チョコキ、パーを出す。 • 歌とグループ分け • 歌に合わせて身体を示す。	「いもほりのうた」 • 「でっかいぞ」「小さいぞ」に合わせて身ぶりで示す • テープに合わせて3つ手を打つ	「みんなで輪になろう」 自分と友達の身体部位をたたいて身体部位を意識する。

### (4) 考察と今後の課題

題材によって児童の意欲は変わってくる。生活単元学習と関りの深い題材を選び、音楽との相互関係によって意欲・表現が高められると考える。一時間の音楽の流れの関りも持たせ、ストーリー性を持たせることで更に意欲が高まることが予想されるので、実践を続けたい。